

障害者活躍推進計画に基づく取組の実施状況（令和2年度）

1 計画策定機関

本庄市（市長部局、本庄市議会、本庄市監査委員事務局、本庄市農業委員会事務局、本庄市教育委員会）

※ 本市では、採用を含む人事管理を市長部局の人事担当課で行っているため、同一の機関として一体的に取組を進めています。

2 評価年度

令和2年度

3 目標の達成状況

(1) 採用に関する目標

○ 障害者雇用率

目標 (R6.6.1時点)	令和2年度 (R2.6.1時点)	策定時 (R1.6.1時点)
2.9%	2.79%	2.56%

(2) 定着に関する目標

○ 就職後1年定着率

目標	実績
100%	100%

(3) 職場の満足度に関する目標

○ 前年度の数値を上回る

令和元年度の満足度	令和2年度の満足度
54.6%	50.0%

(4) キャリア形成に関する目標

○ 障害特性や個性を適切に把握し、障害のある職員が配属される部署を拡大する。

令和元年度	令和2年度
12部署	15部署

※ 累計値

4 取組の実施状況

(1) 障害者の活躍を推進する体制整備

①組織面

- 障害者の雇用の促進等に関する法律に基づき、各任命権者において、障害者雇用促進等の責任者である障害者雇用推進者を選任しています。
- 障害者雇用推進者及び人事担当部署の責任者等を構成員とする障害者雇用推進チームを設置し、会議を開催しました。
- 組織内の人的サポート体制を整備するとともに組織外の関係機関（ハローワーク、就労支援センター）との連携体制を構築しました。

②人材面

- 人事担当課長補佐兼係長が障害者職業生活相談員資格認定講習を受講しました。
- 人事担当課長が精神・発達障害者しごとサポーター養成講座を受講しました。

(2) 障害者の活躍の基本となる職務の選定

- 必要に応じて定期的に面談を行い、障害の特性と業務の適切なマッチングができているかの点検を行いました。
- 疾病や事故等により従来の業務遂行が困難となった職員に対し、職務選定及び職場環境の整備等の配慮を行いました。

(3) 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理

①職場環境

- 人事異動にあたっては、人事担当及び財政担当で障害のある職員に配慮した環境整備について、就労支援機器の購入も含め検討しました。

②募集・採用

- 障害者枠の職員採用募集を行いました。また、職員の募集・採用にあたっては、以下のような不適切な取扱いはありません。
 - ・特定の障害を排除し、又は特定の障害に限定する
 - ・自力で通勤できることといった条件を設定する
 - ・介助者なしで業務遂行が可能といった条件を設定する
 - ・「就労支援機関に所属・登録しており、雇用期間中支援が受けられること」といった条件を設定する
 - ・特定の就労支援機関からのみの受入れを実施する

③働き方

- 全職員を対象としたテレワーク勤務及び時差出勤を導入しました。
- 年次有給休暇等の各種休暇制度について、庁内の掲示板で周知し、利用促進に努めました。

④キャリア形成

- 会計年度任用職員について、任用時に本人の希望を面談等により把握し、その内容や職種で求められる技能等も踏まえた職務選定を行いました。また、次の任期においても引き続きその能力を発揮できるよう支援を行いました。

⑤その他の人事管理

- 障害者職業生活相談員は、必要に応じて随時面談を実施し、相談者の状況把握・体調配慮を行いました。

(4) その他

- 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達等の推進等に関する法律に基づく障害者就労施設等への発注等を通じて障害のある人の活躍の場の拡大を推進しました。